

逗子市立図書館 2020年(令和2年) 7月 1日発行 vol.28

マーメイドくらぶ

YA版

逗子市逗子 4-2-10 TEL046(871)5998(自動音声応答)

<https://www.library.city.zushi.lg.jp>

この夏、
中学生高校生の君に
おすすめの本 12冊

『マーメイドくらぶ』って・・・？

『マーメイドくらぶ』は、子ども版とYA(ヤングアダルト)版を3か月毎に交互に発行しています。テーマごとの本の紹介や図書館からのお知らせなど、図書館と本に関する情報をできるだけたくさんお届けします。



てつがく 『哲学ch』 104 高橋健太郎著 柏書房

哲学の入門の超入門。古今東西の哲学者がワイドショーやバラエティー番組風に、面白おかしく哲学を語る。テレビを見ている感覚で哲学に触れられる一冊。

こんちゅう ぎ が 『昆虫戯画びっくり雑学事典-えっ!とおどろき、

クスツと笑える-』 486.0 円

まるやまむねとし 丸山宗利文 じゅえき じゅえき太郎漫画 大泉書店

虫の種類は100万種ともいわれています。そして、いまだに新種も発見されています。そんな虫たちのよもやま話を、楽しいイラストで学ぶことができます。君の虫を見る目が変わるかも? そんな一冊です。



『オリンピック・パラリンピックを学ぶ』 M 78 円

ごとうみつまさ 後藤光将編著 岩波書店

オリンピックやパラリンピックは、どのように生まれ、発展してきたのでしょうか。「平和の祭典」と言われる四年に一度のスポーツイベントを学べる本です。



『放課後の文章教室』 YA 81 円 小手鞠るい著 偕成社

若い読者から寄せられた、文章や書くことについての質問に作家が答えます。わかりやすく楽しい文章読本です。



『ジェミーと走る夏』 YA 93 ㊦

エイドリアン・フォゲリン作 千葉茂樹訳

沢田としき画 ポプラ社

白人キヤスの家の隣に、黒人ジェミーの一家が引っ越してきます。走るのが大好きな二人の少女の交流によって、大人たちの持つ人種や階級についての偏見が、少しずつ変化していきます。



『過去六年間を顧みて-かこさとし小学校卒業のときの絵日記-』 726.5 カ かこさとし著 偕成社

「どろぼうがっこう」や「だるまちゃん」シリーズでおなじみのかこさとしさん。六年生の時に自分の小学校生活を振り返った絵日記をまとめました。戦争がせまっている時代の子もたちの生活がいきいきと描かれています。



『わたしがいどんだ戦い 1939年』 YA 93 ㊦

キンバリー・ブルベイカー・ブラッドリー作

大作道子訳 評論社

第二次世界大戦中のイギリスで、生まれつき足の悪いエイダは、愛情を受けることなく育ち、ひっそりと歩く練習を始めました。学童疎開をきっかけに、新しい生活へと飛び込んでいきます。



『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』 M 91.3 ㊦

万城目学著 筑摩書房

元気な小学一年生かのこちゃんと、犬と会話すると人間になってしまう猫のマドレーヌ夫人の日々の暮らしの物語。かのこちゃんの成長ぶりがユーモアいっぱい、そして涙とともに描かれています。



『10代のための疲れた心がラクになる本-

「敏感すぎる」「傷つきやすい」自分を好きに

なる方法-』 YA 14 ㊦ 長沼陸雄著 誠文堂新光社

悩んでいるのは自分だけではありません。隣の友だちにも不安や悩みはあるかもしれません。自分をラクにする術を考えてみましょう。



『わたしがいどんだ戦い 1940年』 YA 93 ㊦

続編

歩けるようになったエイダの、勇気ある戦い完結編です。

『朔と新』 YA 91.3 イ いとうみく著 講談社

事故で視力を失った兄と、その事故のきっかけをつくってしまった弟。それぞれの思いを秘めたまま、兄弟でブラインドマラソンに挑戦することに。ふたりの関係はどう変わっていくのでしょうか。



『徳治郎とボク』 YA 91.3 ㊦ 花形みつる著 理論社

横須賀に住む祖父、徳次郎は頑固者。気に入らないことには聞く耳を持たず、母さんたちは手を焼いている。でもボクは、祖父が話してくれる子どもの頃の話聞くのが大好きだった。自分の道をつらぬいた徳次郎とボクの物語です。



『泥』 YA 93 サ

ルイス・サッカー作 千葉茂樹訳 小学館

森の中の学校で、奇妙な泥に触れた生徒たちが次々と不思議な病になっていく。昨今のコロナ禍に似たところがあり、謎めいたスリリングな展開に夢中になります。

